松方社長の問責協議

交渉委員本部に委員會を開き

十九日更に第二回演説會開催

十二日夜濱川製菓館に開催された被檢擧者大會で交渉委員に擧げられた行政、柴田、川島其他十名の同委員は十四日午後から關西勞働同盟本部の二階に集合して委員會を開き松方社長に對する交渉條項を決議の三條項竝に要求の貫徹を期する爲に協議した後病氣其他の事情ある者を除く外全部が本社に赴き交渉條項を松方社長に手交した

同盟罷業

日本人職工

大笑せの工場委員

佐藤、中岡良一が

去る九日工場委員の再選挙を行つた住友伸銅尼崎工場は最初新選擧の際が全勝してゐたが職工幸福增進の點で相容れず辭任をしたので新たに永瀬役が先般警察部長、檢事局等を招待して昨夏の爭議の高壓手段が佛國政府のそれと取つて方法が異つたものであるとの意味なつて語つたことを攻撃して後今度は逆に川崎は卑劣極まつてゐる人達の注意を促したい

「惡田總同盟會理事が先日急遽來神したことは川崎は卑劣極まつてゐることを暗示する樣な氣がするが然し會社は此の際これが知れ渡つては昨夏の爭議の個性者が現に今斯く動きつゝあるに拘らず又內部の者が動いては如何なる煽動たる大爭議が勃發するかも判らないので隱蔽してゐるのではないかと思ふ

又一部には警官の注意を避け大陽來の裡に十二分に演說し終り再び檢擧記者の歌を高唱しつゝ九時半散會した

川崎造船所

紳士的徴選に出來ぬ

鐵道側憤慨

川崎造船所が海軍檢印僞造事件發覺に就き鐵道局技術官某氏の語る所に依れば元來川崎造船所が今日の如く我國最大の汽車製造會社と成つたのは元々鐵道省から技術者を監督官として派遣し手を取つて敎へたからである今日では信用ある大會社だから非文明の檢査制度を廢し無檢査で受取り後で不正が發見すれば其時は相當の罰金を取る事にしようと

相談中

であつたが今度のやうに僞造印の實物が證據として擧るやうではさても紳士の待遇は時期尙早た僞造印がある以上は夫れを使用した不正品が多數に納入された事は爭はれぬから大いに取調べて斷乎たる處置を採らねばならぬ從來鐵道の受け入れは標準表格に達しない製品でも相當檢査を割引して受取つてゐる又檢査の時發見しない不正品が

運轉中

に罹せる場合は別として併し今度の不正行爲を察するに會社は職工を製品何箇で何圓と云ふやうに請負制度で使用して居て而も檢査に不合格品には賞與を支拂はない事に成つて居る關係上不合格を恐るゝ職工長等が僞造檢印を行使して居たのであらうと思ふ云々（十六日、神戸發）

證據の僞造刻印

續々蒐集さる

聯合會には既に卅種

憲兵隊から出張調査

川崎造船所の不正事件につき神戸憲兵分遣所の神谷特務曹長は十六日午前日本勞働總同盟神戸聯合本部に出張し告發事件に關する調査を遂げたが告發者側では刻印の僞造と關係深き神戸市逅の諸工場其他の狀況を詳細に報告した同十六日朝以來以前川崎に勤めた職工で事情を知らずに刻印を製造せしめられた多數の職工連は續々聯合會に押寄せ早くも二、三十餘圍の證據物件が蒐集されて告發者側は會に〳〵と息を荒くして居る（十六日、神戸發）

刻印が先方の手に

在るのが不思議

海軍側でもそんな不正は無いと云つてゐたよ

松方社長の空威張

十六日朝突然續つて來た川崎造船所社長松方幸次郎氏は語る「先刻も解雇職工が十人許り面會を申し込んで來たが兎に角明日電話を掛けて呉れと云つて置いた要求條件も聞賣の件も皆つて話を聞かなくては何う返答してよいか判らぬ更に刻下の大問題となつて居る海軍省刻印僞造事件に就いてはそんな噂があると云ふから聞いて來たが何もそんな不正事件はありませぬその報告であつた僞造したと云ふ刻印を先方が持つてゐると云ふ事がをかしいぢやないか」と平然として居つた（十六日、神戸發）

古い刻印は

海底へ捨る

と海軍側はいふ

川崎造船所では「監督官の註文で幾つも刻印を造るが、古い刻印の中にあつたと云ふ事は全く知らぬ」と發表した海軍監督官は曰く「刻印の製造は川崎でも他の民間にも命じて居る又使用して古くなつた刻印は海の底へ投入するがそれが會社の手に入る筈はない今度出て居る證據の刻印は海軍の檢査刻印とは全然異つて居る」（十六日、神戸發）

關西勞働團も

奮起す

此度の不正事件に全力傾注

神戸川崎造船所の不正事件に關しては目下の處では柴田、川島の二人が個人として表面に立つて居るに過ぎないが日本勞働總同盟神戸聯合會では松方社長の歸朝を機とし示威運動を起すべく猛運して居る際尙ほ今回の事件が勃發したので此際全力を擧げて起つことに內定して居る一方關西勞合會（大阪、京都、神戸）でも今回の不正事件については極力應援する方針で十六日午後一時大阪勞合會東忠織氏は眞相調査及神戸聯合會と打合せの爲め神戸に向つた（十六日、大阪發）